

平成 26 年度当初予算における重点施策

安全・安心で活力あるまちづくりを進めるため、後述の「平成 26 年度主要施策等一覧」にある項目に沿って、各種施策を積極的に展開してまいります。

その中でも、特に優先して取り組む施策として、昨年度に引き続いて「安全・安心な暮らしのための取組」と「市内経済の活性化に向けた取組」のほか、平成 26 年度は新たに「次代を担う子どもたちへの取組」を位置づけ、重点的に施策を進めてまいります。

1 安全・安心な暮らしのための取組

(1) 社会資本の耐震化や老朽化対策

○校舎等改築事業費（手宮地区統合小学校、山手地区統合小学校）	9 3 7, 4 7 0 千円
○校舎等耐震補強等事業費（奥沢小、潮見台中、朝里中、銭函中）	3 2, 9 0 0 千円
○非構造部材耐震化事業費（学校施設）	2 0, 4 2 0 千円
安全・安心な教育環境の確保	
○病院統合新築事業（災害拠点病院）	6, 9 1 7, 8 9 8 千円
小樽病院と脳・循環器・こころの医療センターを統合し新市立病院を建設	
○上下水道施設整備事業費	8 4 3, 0 0 5 千円
配水管・汚水管整備など災害に強い上下水道施設の整備	
○道路ストック点検・修繕更新計画策定事業費	3 5, 0 0 0 千円
道路ストック（道路トンネル、舗装、道路附属物、のり面盛土擁壁等）を点検し、修繕計画を策定	
○銭函地区河川防災事業費	2 7, 5 0 0 千円
河川に溜まった土砂のしゅんせつや護岸等の改修により大雨等による浸水被害を防止	
○市有建築物耐震診断経費	4 9, 9 0 0 千円
本庁舎、市民会館、小中学校、総合体育館の耐震診断を実施	
○民間大規模建築物耐震診断促進経費	4 4, 0 0 0 千円
市内の民間大規模建築物所有者に対して、耐震診断費用の一部を助成	
○(仮称)消防署オタモイ出張所建設事業費	2 5, 8 0 0 千円
消防署長橋出張所と塩谷出張所を統合した新庁舎を建設	
○消防救急無線デジタル化事業費	2 2 4, 9 4 2 千円
消防救急無線のデジタル化に対応するための施設等整備	
〔※平成 2 6 年 1 定(平成 2 5 年度 5 定)補正予算(繰越明許費)〕	7 8, 0 5 8 千円〕
○小樽公園再整備事業費	9 6, 6 0 0 千円
明治 2 6 年開園の小樽公園を再整備	
○観光物産プラザ屋根改修事業費	7 4, 0 0 0 千円
○総合博物館運河館屋根改修事業費	5 7, 5 0 0 千円
観光物産プラザ及び併設する総合博物館運河館の屋根瓦を全面的に葺き替え	

(2) 防災・減災対策

①住民の避難行動の支援

○防災関係経費（防災訓練支援事業） 200 千円

各町会等での避難訓練の実施を促進、津波浸水シミュレーションを活用した研修を実施

○防災関係経費（避難支援事業） 2,949 千円

「津波注意喚起標識板」「海拔表示板」の設置、私立保育所や幼稚園などへ防災ラジオを配布

②避難所の環境整備の促進

○福祉避難所機能確保促進事業費 1,539 千円

災害時要援護者のための福祉避難所の機能確保に向け災害用間仕切りセットを整備

○防災関係経費（避難所機能強化事業） 8,113 千円

市内 69 避難所に非常用食糧や防寒対策用品等を計画的に配備

③原子力防災対策の推進

○原子力防災関係事業費 2,250 千円

衛星携帯電話などの連絡通信機器や避難施設備蓄品など、必要な資機材等を整備

2 市内経済の活性化に向けた取組

(1) 小樽観光の振興

①観光客の誘致推進

○観光誘致促進事業費補助金 3,300 千円

観光協会が行うナイトマップやクーポンの作成、クルーズ客船寄港時の物産展開催などに対して補助

○宿泊客誘致事業費補助金 2,000 千円

企業の福利厚生会報誌等に本市観光の紹介と市内宿泊施設の広告を掲載し、宿泊客の増加を図る

○国内外観光客誘致実行委員会補助金 3,000 千円

香港から旅行代理店担当者等を招へいするほか、関西や札幌での観光プロモーションを実施

○小樽国際インフォメーションセンター運営費交付金 10,355 千円

外国語通訳を運河プラザに配置し、国内外の観光客に対する総合窓口を開設

○東アジア圏等観光客誘致広域連携事業費補助金 1,200 千円

札幌市等と連携し、外国人観光客と MICE 誘致に向けた MICE サミットへの参画やメディア招へいなどを実施

②新たな魅力づくり

○旧国鉄手宮線整備事業費 37,800 千円

中心市街地の新たな観光資源として旧国鉄手宮線を整備

○小樽 kawaii ティーパーティー実行委員会補助金 500 千円

国内や海外にも広がる「kawaii（カワイイ）」をキーワードとしたイベントを開催

(2) クルーズ客船などの誘致・受入れに向けた環境整備

①クルーズ客船の誘致推進

○環日本海クルーズ推進事業費 1,820 千円

小樽港、伏木富山港、京都舞鶴港、境港、秋田県 3 港の 5 地域が連携してクルーズ客船の誘致活動や情報収集等を実施

○小樽港クルーズ推進事業費 15,840 千円

小樽港クルーズ推進協議会によるクルーズ客船の誘致活動や寄港増に対応するための受入体制を強化

②クルーズ客船などに対応する施設の整備

○国直轄工事費負担金（第3号ふ頭岸壁改良事業費） 20,000千円

第3号ふ頭及び周辺再開発事業の一環として老朽化が進んでいる16番岸壁を改良するための調査・設計

○第3号ふ頭岸壁改良事業費 54,400千円

第3号ふ頭13～15番岸壁の老朽化対策と併せてクルーズ客船に対応するため係船柱などを改良

○港内泊地しゅんせつ事業費 18,000千円

土砂などの堆積により浅くなった岸壁前面泊地の必要な水深確保のためのしゅんせつ

○小樽港保安施設改良事業費 27,400千円

勝納ふ頭における大型クルーズ客船係留時の車両や歩行者の安全性確保及び港町ふ頭における定期RORO船等の警備体制強化のため保安施設を改良

（3）地場企業の振興と企業誘致の推進

①地場企業の活性化

○東アジア等販路拡大支援事業費 2,820千円

新たに海外へ商品を輸出する際の手続費用や商談会・展示会等への参加費用を補助

○海外バイヤー招へい連携事業費 450千円

札幌市やJETRO北海道等との共催により、海外バイヤーとの商談会や製造工場見学会を開催し、市内企業への商談機会を創出

○「小樽産品」販路拡大支援事業費 3,800千円

販路拡大を支援するため、道外の展示会への出展や小樽単独物産展の開催を支援

○住宅リフォーム助成事業費 21,200千円

住宅リフォームに要する費用の一部を助成し、住環境の整備と市内産業の活性化を推進

②ブランド力の強化

○水産物ブランド化推進事業費 1,100千円

品評会の開催や水産加工品のデータベースを作成

○小樽ブランド力推進事業費 6,993千円

既存商品の磨き直しや新商品開発に向けたコーディネートを継続的な販路確保とともに実施

○地場産品導入促進事業費 2,100千円

地域資源であるガラスの周知と活用促進を図るため小学生の卒業記念としてガラス製品の製作体験を助成

③企業誘致の推進

○企業立地トップセミナーフォローアップ事業費 784千円

平成24・25年度に東京・大阪で開催した「企業立地トップセミナー」の参加企業等に対するフォローアップとして、市長などによる企業訪問を実施

（4）雇用対策

①新規学卒者等の就職支援

○高校生就職スキルアップ支援事業費 1,836千円

主に高校1・2年生を対象に、市内企業への就職率向上を図るため就職活動の実践能力向上事業を実施

②雇用創出・対策事業

○観光型商店街活性化モデル事業費 10,501千円

空き店舗を活用した「商店街・観光案内所」の設置や、道内外に向けたPR活動など、商店街活性化のモデルづくりを委託により実施

- 小樽の街並み・景色を観光資源とした観光促進事業費 12,258千円
本市の観光画像データを刷新しデータベースを構築するほか、「小樽撮影ガイドブック」の作成などを委託により実施
- 海水浴場・観光イベント等クリーンアップ事業費 2,000千円
市内8海水浴場等と「おたる潮まつり」会場を巡回しながら、散乱ごみの収集・集積を委託により実施
- 市内一円砂箱補充事業費 1,000千円
市民との協働による急坂路線を中心とした凍結路面对策を充実するため、市内一円に設置している砂箱への砂小袋補充を委託により実施
- 於古登川店舗落雪対策事業費 650千円
於古登川店舗（妙見市場）の屋根からの落雪による事故や側道の通行阻害を防止するため、屋根の雪下ろし及び側道の除排雪を委託により実施

3 次代を担う子どもたちへの取組

（１）子育て環境整備

- 子育てトレーニング教室開催事業費 238千円
子育てプログラム「コモンセンス・ペアレンティング」のトレーナー養成と普及に向けた子育てトレーニング教室を開催
- 子ども・子育て支援事業計画策定経費 501千円
「子ども・子育て支援法」で策定が義務付けられた「子ども・子育て支援事業計画」（計画期間：平成27～31年度）を策定
- 保育所建設事業費
・奥沢保育所 24,600千円
新園舎供用開始、現園舎解体工事、外構工事
(平成26年4月の新園舎供用開始から「延長保育」と「産休明け保育」を開始)
- ・銭函保育所・子育て支援センター 402,558千円
平成27年度供用開始に向けて新園舎建設工事等を実施

（２）学力向上対策

- 音読推進経費 272千円
全ての小中学校で取り組んでいる家庭学習での「音読」活動の充実を図り、児童生徒の学力向上を推進
- 義務教育活動経費（学校図書館整備費） 10,447千円
図書整備のほか、小中学校各1校に配置した図書館司書の複数校担当化や図書のデータベース化を実施
- スクール・ライブラリー便事業費 1,000千円
学校のリクエストに応じて図書館図書100冊を2か月間貸し出す「スクール・ライブラリー便事業」を全小中学校で実施するため、計画的に専用図書を購入
- 「小樽イングリッシュキャンプ」関係経費 151千円
市内小中学生の国際感覚を育むため、外国人との宿泊生活など「英語漬け」の時間を過ごすプログラムを実施
- デジタル教材整備費 1,812千円
児童が授業内容を理解する上で教育効果が高い実物投影機などを小学校に整備

平成26年度主要施策等一覧

平成26年2月
(◎＝新規 ☆＝拡大)

1 心豊かに学び、地域文化をはぐくむまち（生涯学習）

① 「樽っ子学校サポート」関係経費 162千円

児童生徒の学習意欲の向上と基礎学力の定着を目指すため、小樽商科大学に在籍する学生を小中学校へ派遣し学習支援を実施（平成24年度から実施）

重点 ② 音読推進経費 272千円

全ての小中学校で取り組んでいる家庭学習での「音読」活動の充実を図り、児童生徒の学力向上を推進

- ・「音読カード」の配布、「音読カップ（発表会）」の開催

重点◎ ③ 「小樽イングリッシュキャンプ」関係経費 151千円

市内小中学生の国際感覚を育むため、外国人との活動や宿泊生活、外国人観光客への観光案内など「英語漬け」の時間を過ごすプログラムを実施

- ・宿泊場所：おたる自然の村（1泊2日）
- ・参加対象：小学校5・6年生（20名）、中学生（20名）
- ・指導者：小樽商科大学留学生、ALT（外国語指導助手）ほか

☆ ④ 特別支援教育支援員経費 33,146千円

小学校28,148千円、中学校4,998千円

LD（学習障害）やADHD（注意欠陥・多動性障害）、高機能自閉症などのほか、介護の必要な障がいのある児童生徒を支援するため、必要に応じて特別支援教育支援員（介護員含む。）を配置

- ・平成25年度 小学校25名、中学校3名 → 平成26年度 小学校25名、中学校4名

重点 ⑤ 校舎等改築事業費 937,470千円

（手宮地区統合小学校、山手地区統合小学校） 手宮886,470千円、山手51,000千円

安全で安心な教育環境の確保のため、校舎や屋内運動場の改築に係る実施設計、工事等を実施

- ・手宮地区統合小学校 H25～H26 校舎建設、H27 屋内運動場建設、H28 開校、グラウンド整備
- ・山手地区統合小学校 H25 基本設計、H26 実施設計、H27 旧車両整備工場解体、敷地造成
H28～29 校舎・屋内運動場建設、H30 開校、グラウンド整備

重点◎ ⑥ 校舎等耐震補強等事業費

32,900千円

小学校19,200千円、中学校13,700千円

校舎及び屋内運動場の耐震化工事に向けた実施設計

- ・奥沢小学校、潮見台中学校、朝里中学校、銭函中学校

重点◎ ⑦ 非構造部材耐震化事業費

20,420千円

小学校12,500千円、中学校7,920千円

東日本大震災における天井材や照明器具、内外装材の落下などによる人的被害が生じた例を踏まえ、平成26年4月から施行となる「建築基準法施行令」の改正に基づき、学校施設の非構造部材について落下防止対策を実施

- ・平成26年度：屋内運動場のバスケットゴール、天井照明の点検及び補強工事
教室等内部備品の固定

重点 ◎ ⑧ 義務教育活動経費(学校図書館整備費)

10,447千円

小学校5,163千円、中学校5,284千円

図書整備のほか、学校図書館活動の活性化と児童生徒の読書習慣の定着及び学力の向上を図るため、小学校1校、中学校1校を学校図書館利活用推進モデル校として指定し、平成25年度から学校図書館司書を各1名配置。平成26年度は、配置した司書の複数校担当化や、図書のデータベース化を実施

重点◎ ⑨ デジタル教材整備費

1,812千円

児童が授業内容を理解する上で教育効果が高い実物投影機（教科書や学習プリントなどをそのまま拡大して映し出すことができる機器）とプロジェクターを整備

- ・各小学校で既存のものを含め最低1台（10クラス以上は2台）配置されるよう整備

重点◎ ⑩ スクール・ライブラリー便事業費

1,000千円

平成24年度から花園小学校と松ヶ枝中学校で学校図書館を支援するためのモデル事業として実施している「スクール・ライブラリー便」事業（学校のリクエストに応じて図書館図書100冊を2か月間貸出し）を全小中学校で実施するため、計画的に専用図書を購入

◎ ⑪ 伊藤整文学賞記念事業費補助金

1,000千円

伊藤整文学賞(平成2年創設)が平成26年度(第25回)で終了するに当たり、「伊藤整文学賞の会」が実施する記念誌の発刊や記念講演会などの記念事業に助成

⑫ 特別展開催経費(美術館)

5,507千円

I) 開館35周年記念特別展「色彩の饗宴 巨匠たちの絵とパレット」

- ・開催期間：平成26年5月17日～7月21日

II) 「伊藤英二 木のおもちゃ展」

- ・開催期間：平成26年10月18日～12月28日

⑬ 重要文化財旧日本郵船(株)小樽支店保存整備調査費 26,263千円

重要文化財「旧日本郵船(株)小樽支店」の保存修理に向けた事前調査を実施

・調査期間：平成25年度～平成26年度

2 ともに支え合い、安心して健やかに暮らせるまち（市民福祉）

◎ ① 高齢者保健福祉計画等策定事業費 685千円

3年ごとに見直しを行う「小樽市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」について、平成27～29年度を計画期間とする第6期計画を策定

② 地域生活支援事業(成年後見制度利用支援) 23,940千円

一般会計3,252千円、介護保険事業特別会計20,688千円

平成22年度に小樽市社会福祉協議会が開設した「小樽・北しりべし成年後見センター」への財政支援と低所得者に対する後見人報酬等を助成

③ ふれあいパス事業費 168,000千円

消費税率引上げにより、市内バス路線の運賃が210円から220円に改定されることに伴い、利用者負担額が10円増加（バス事業者の負担軽減のため市負担額も10円増加）

重点◎ ④ 子育てトレーニング教室開催事業費 238千円

怒らず効果的に子どもを養育するためのプログラムである「コモンセンス・ペアレンティング(CSP)」のトレーナー養成と保護者への普及に向けた子育てトレーニング教室を開催

重点 ⑤ 子ども・子育て支援事業計画策定経費 501千円

「子ども・子育て支援法」で策定が義務付けられた「子ども・子育て支援事業計画」（計画期間：平成27～31年度）を策定（平成25年8月「小樽市子ども・子育て会議」を設置）

重点 ⑥ 保育所建設事業費 427,158千円

奥沢保育所 24,600千円

子育て支援の拠点施設（地域子育て支援センター併設）である奥沢保育所（昭和47年建築）の老朽化に伴う改築

- ・平成24年度 基本設計、実施設計、地質調査、測量調査
- ・平成25年度 新園舎工事、外構工事
- ・平成26年度 新園舎供用開始、現園舎解体工事、外構工事

※平成26年4月の新園舎供用開始から「延長保育」と「産休明け保育」を開始

銭函保育所・子育て支援センター

402, 558千円

銭函保育所（昭和43年建築）の老朽化に伴い、子育て支援センターを併設し改築

- ・平成23年度 測量調査
- ・平成25年度 地質調査、基本設計、実施設計
- ・平成26年度 仮設園舎工事、現園舎解体工事、新園舎工事
- ・平成27年度 新園舎供用開始、仮設園舎解体工事、外構工事

◎ ⑦ 新型インフルエンザ等対策事業費**200千円**

新型インフルエンザ等の発生時におけるまん延防止など、住民生活への影響を最小限にとどめるため、国及び北海道の行動計画に基づき本市の行動計画を策定し、計画に基づく医療体制の整備や平常時からの情報提供、関係団体や市民等に対する感染予防対策の周知啓発を実施

⑧ 旧夜間急病センター解体工事費負担金**8, 532千円**

旧済生会小樽病院の解体工事に伴い、旧夜間急病センターに係る工事費用の相当分を負担

重点 ⑨ 病院統合新築事業**6, 917, 898千円****(建設利息32,333千円含む)**

小樽病院と脳・循環器・こころの医療センターを統合し新市立病院を建設

- ・平成22年度 基本設計
- ・平成23年度 実施設計
- ・平成24年度 旧量徳小学校解体、本体工事
- ・平成25年度 本体工事
- ・平成26年度 本体工事、外構工事、新市立病院供用開始、現小樽病院解体、駐車場整備
- ・平成27年度 現小樽病院解体、駐車場整備

3 安全で快適な住みよいまち（生活基盤）**重点 ① 配水管整備、改良工事、導・送水管整備、消火栓整備****988, 116千円**

- ・配水管整備工事 市内一円配水管布設 L=5,747m 425, 814千円
- ・改良工事（老朽施設等更新改良工事ほか）
中区配水池築造工事 ほか 504, 352千円
- ・導・送水管整備工事（豊倉送水管等布設工事ほか） 56, 000千円
- ・消火栓整備 消火栓1基新設 1, 950千円

重点	② 汚水管・雨水管整備及びポンプ場・処理場の更新	1, 468, 469千円
	・ 汚水管整備 長寿命化対策汚水管改築工事 ほか	323, 278千円
	・ 雨水管整備 雨水管新設（熊碓第2排水区雨水渠実施設計委託ほか）	21, 600千円
	・ ポンプ場更新 高島汚水中継ポンプ場機械設備工事 ほか	211, 745千円
	・ 処理場更新 中央下水終末処理場放流ポンプ棟機械設備工事 ほか	911, 846千円
	③ 臨時市道整備事業費	405, 000千円
	市民生活の安全及び円滑な交通を確保するため、道路改良を実施 ・ 平成26年度整備予定 30路線	
重点◎	④ 道路ストック点検・修繕更新計画策定事業費	35, 000千円
	老朽化が進む道路ストック（道路トンネル、舗装、道路附属物、のり面盛土擁壁等）について 点検を行い、修繕計画を策定	
重点	⑤ 銭函地区河川防災事業費	27, 500千円
	大雨等による銭函地区の浸水被害防止のため、緩勾配河川に溜まった土砂を取り除くほか、護 岸や側溝を改修し河川の機能回復を図る防災事業を計画的に実施 ・ 平成26年度整備予定 土砂しゅんせつ4河川、護岸及び側溝改修2河川	
◎	⑥ 住宅マスタープラン策定経費	6, 000千円
	平成17年3月に策定した「住宅マスタープラン」の計画期間が平成26年度で終了するため、官民 含めた市内全域の住宅施策を体系的に展開、推進するための指針となる新たな住宅マスタープラ ンを策定（計画期間：平成27～36年度）	
	⑦ 市営住宅改善事業費	100, 140千円
	「小樽市公共賃貸住宅長寿命化計画」に基づき、老朽化した市営住宅を計画的に改修 ・ 長寿命化型改善 新光C-1、C-2：屋根・外壁等改修	
	⑧ ロードヒーティング更新事業費	123, 800千円
	老朽化したロードヒーティング施設を計画的に更新 ・ 清水第3線 L＝100m、船見線 L＝161m、桜8号線 L＝60m	
◎	⑨ 建設機械整備費	40, 650千円
	安定的な除雪体制の確保を目的に、除排雪機械を計画的に更新 ・ ロータリ除雪車 1台更新	

重点 ⑩ 旧国鉄手宮線整備事業費 37,800千円

平成21年度に策定された旧国鉄手宮線の活用計画に基づき、観光客の回遊性の向上や時間消費型観光の促進のため、中心市街地の新たな観光資源として旧国鉄手宮線を整備

- ・平成22年度 「旧色内駅ステーション」整備
- ・平成24年度 旧手宮線用地取得、測量設計
- ・平成25～27年度 散策路・広場整備（中央通～総合博物館）

◎ ⑪（仮称）北海道新幹線新駅周辺まちづくり計画策定事業費 12,157千円

天神2丁目に設置される新幹線新駅の周辺整備などの指針となるまちづくり計画を策定（平成26～28年度）

- ・平成26年度 ワークショップ開催、市民アンケート、交差点等交通量調査ほか

◎ ⑫ 北海道新幹線建設費負担金 200千円

全国新幹線鉄道整備法及び同法施行令に基づき新幹線建設費の一部を負担

（「負担する範囲（駅部及び都市計画法上の用途地域）」に係る北海道負担分(3分の1)の10分の1を、工事の事業内容に応じて完成までの間負担）

重点 ◎ ⑬ 市有建築物耐震診断経費 49,900千円

建築物の耐震化をより一層進めるための「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に基づき、昭和56年5月31日以前に着工された市有建築物の耐震診断を実施

- ・平成26年度対象施設：本庁舎、市民会館、小中学校、総合体育館

重点 ◎ ⑭ 民間大規模建築物耐震診断促進経費 44,000千円

建築物の耐震化をより一層進めるための「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に基づき、市へ耐震診断の報告が義務付けられる不特定多数の人が利用する民間大規模建築物所有者に対して、耐震診断費用の2/3を助成

重点 ⑮ 住宅リフォーム助成事業費 21,200千円

「小樽市住宅リフォーム助成条例」に基づき、住宅リフォームに要する費用の一部を助成し住環境の整備及び市内産業の活性化を促進（平成24年度から実施）

- ・対象工事 市内建設業者が行う50万円以上の費用を要するリフォーム
- ・助成金の額 リフォームに要する費用の1/10で上限額20万円
（省エネ改修工事費が30万円以上になる場合は上限額30万円）

※バリアフリー等住宅改造資金貸付金との重複申請はできない

重点	⑯ 防災関係経費	11,262千円
	防災訓練支援事業 200千円 各町会等での避難訓練の実施を促進するとともに、地域住民の防災意識と地域の防災力の向上を図るため、津波浸水シミュレーション画像を活用した研修を実施するほか、資料提供などの支援を実施	
	避難支援事業 2,949千円 ・津波注意喚起標識板の設置 住民、観光客等の迅速で的確な避難を図るため、3年計画で津波浸水想定区域を有する沿岸部に「津波注意喚起標識板」及び「海拔表示板」を設置し、津波避難誘導を実施 平成25年度：「津波注意喚起標識板」を港湾地区16か所に設置 平成26年度：「津波注意喚起標識板」を蘭島～銭函地区（港湾地区除く）16か所に設置 「海拔表示板」を蘭島～港湾地区の一部75か所に設置 ・防災ラジオの配布 迅速な避難行動を図るため、緊急地震速報や津波警報等を自動受信する防災ラジオを保育所、町会、自治会などに配布 平成25年度：町会 151台、自治会 20台、市立保育所 6台 計177台 平成26年度：私立保育所、幼稚園、放課後児童クラブ、児童館等 計70台 ・津波ハザードマップの増刷	
	避難所機能強化事業 8,113千円 災害発生時の避難所（69か所）受入体制強化のため、計画的に非常用食糧や防寒対策用品等を配備 ・平成24年度から、防寒対策用品等は6か年、避難所標識の新設及び更新は5か年で整備	
重点	⑰ 福祉避難所機能確保促進事業費	1,539千円
	身体等の状況により一般的な避難所では支障を来す高齢者や障がい者などのための「福祉避難所」（平成25年度に市内社会福祉施設9か所と協定締結）の機能確保のほか、福祉避難所へ移送するまでの間や収容できない場合に、一次的避難所（小中学校）で介護や医療相談等を受けることができる空間を確保するための災害用間仕切りを整備 ・平成25年度 250セット整備（福祉避難所） ・平成26年度 150セット整備（小中学校）	
重点	⑱ 原子力防災関係事業費	2,250千円
	原子力防災活動に必要な資機材等を整備 ・連絡通信機器の整備（衛星携帯電話、防災行政デジタル(MC A)無線、小電力トランシーバー） ・防災資機材、避難施設備蓄品の整備（サーバイメーター(放射線量率測定)の点検校正、避難所用毛布整備ほか）	

⑱ **機動力増強・近代化事業費** 32,000千円
災害対応特殊消防ポンプ自動車を更新整備

◎ ㉓ **救急業務高度化推進事業費** 32,000千円
消防署手宮出張所の高規格救急自動車を更新整備

重点 ◎ ㉔ **(仮称)消防署オタモイ出張所建設事業費** 25,800千円
「小樽市消防長期構想」に基づき、消防署長橋出張所と塩谷出張所を統合した新庁舎を建設
・平成26年度 旧学校給食オタモイ共同調理場跡地（国有地）の購入、既存建物の解体工事、基本設計
・平成27年度 実施設計
・平成28年度 新庁舎建設工事
・平成29年度 供用開始

重点 ㉕ **消防救急無線デジタル化事業費** 224,942千円
平成28年5月末の消防救急無線のデジタル化移行に対応するため、デジタル無線施設を整備
・平成24年度 基本設計
・平成25年度 実施設計
・平成26年度 システム整備（赤岩基地局局舎・鉄塔の建設ほか）
・平成27年度 システム整備（赤岩、銭函、消防本部基地局無線装置の整備ほか）
デジタル無線運用開始
・平成28年度 アナログ無線施設撤去
〔※平成26年1定（平成25年度5定）補正予算（繰越明許費） 78,058千円〕

4 人・もの・情報が交流する活力あるにぎわいのまち（産業振興）

① **(水産業振興、漁港管理)道直轄工事費負担金** 7,600千円

塩谷地区水産環境整備事業 2,000千円
塩谷地区（文庫歌）の水質保全及び良質な漁場環境への改善を図るため、海岸土砂崩落防止工事を実施
・平成23年度 設計、測量
・平成24～25年度 法切工、排土工ほか
・平成26年度 伏工（植生マット、張芝）、水路工、暗渠工ほか
※平成26年度事業費20,000千円（うち市負担 10/100＝2,000千円）

忍路漁港整備事業 5,600千円
西防波堤、西護岸、物揚場、船揚場の新設等（平成23～26年度）
・平成23年度 測量、調査、設計
・平成24～26年度 防波堤等新設工事
※平成26年度事業費70,000千円（うち市負担 8/100＝5,600千円）

重点◎ ② 水産物ブランド化推進事業費 **1, 100千円**

小樽の水産物のブランド化を図るため、品評会の開催やその受賞商品をPRするほか、水産加工品のデータベースを作成

重点 ③ 東アジア等販路拡大支援事業費 **2, 820千円**
通関等の費用補助（平成22年度開始）

新たに海外に商品輸出する際の輸出手続等に要する費用を補助

商談会、展示会等の費用補助（平成23年度開始）

東アジア等への販路拡大を目的とした商談会・展示会等への参加費用を補助

重点◎ ④ 海外バイヤー招へい連携事業費 **450千円**

海外への販路拡大のため、札幌市やJETRO北海道等との共催により、海外バイヤーとの商談会や製造工場見学会を開催し、経費や時間の制約などから海外での商談会等へ参加できない市内企業への商談機会を創出

重点 ⑤ 小樽ブランド力推進事業費 **6, 993千円**

ブランド力の向上を図るため、顧客ニーズや市場動向等の情報収集を行い、顧客目線を重視した既存商品の磨き直しや新商品開発のコーディネートを継続的な販路確保とともに実施（平成24年度から実施）

⑥ 活力ある商店街づくり推進事業費 **9, 770千円**

にぎわう商店街づくり支援事業費 **4, 800千円**

小樽市商店街振興組合連合会に属する商店街等が、中心市街地活性化に寄与するために独自に企画・実施する活性化事業に助成

助成額：事業費の1/2（限度額600千円）

商店街活性化支援事業費 **2, 000千円**

活力ある商店街の形成を図るために商店街を活性化する事業を実施する団体へ助成

助成額：事業費の1/2

事業費1,000千円未満（限度額100千円）、事業費1,000千円以上（限度額200千円）

空き店舗対策支援事業費 **2, 970千円**

商業起業者（市外からの移住者含む）及び既存事業者の経営安定化と空き店舗解消を目的に店舗家賃等の一部を助成

助成額：①起業者 研修費用の2/3（限度額30千円）

家賃の2/3（限度額50千円）×12か月

②既存事業者 家賃の1/2（限度額50千円）×6か月

- 重点 ⑦ **地場産品導入促進事業費** **2, 100千円**
地域資源であるガラスの周知と活用を促すため、小学生の卒業記念としてガラス製品の製作体験を行う費用を助成（平成24年度から実施）
- 重点 ⑧ **「小樽産品」販路拡大支援事業費** **3, 800千円**
市内企業の販路拡大支援のため、道外の展示会へ出展するほか、小樽単独物産展の開催などを支援（平成25年度から実施）
- 重点◎ ⑨ **企業立地トップセミナーフォローアップ事業費** **784千円**
平成24年度（東京）、平成25年度（大阪）に開催した「企業立地トップセミナー」の参加企業などに対するフォローアップのため、市長などによる企業訪問を実施
- 重点☆ ⑩ **観光誘致促進事業費補助金** **3, 300千円**
観光協会が行うナイトマップやクーポンの作成、クルーズ客船寄港時の物産展開催などに対して補助
- 重点◎ ⑪ **宿泊客誘致事業費補助金** **2, 000千円**
企業の福利厚生会報誌等に本市観光の紹介や市内宿泊施設の広告を掲載し、観光閑散期（11～2月）の宿泊客増加を図るための誘客キャンペーンを実施
- 重点 ⑫ **国内外観光客誘致実行委員会補助金** **3, 000千円**
香港から旅行代理店担当者やメディア関係者を招へいする事業のほか、関西の旅行代理店等に対する観光説明会の開催、札幌での誘客キャンペーンなどの観光プロモーションを実施する実行委員会に対し補助（平成25年度から実施）
- 重点 ⑬ **小樽国際インフォメーションセンター運営費交付金** **10, 355千円**
外国語通訳（英語、中国語、韓国語）を運河プラザに配置し、国内外の観光客に対する総合窓口を開設する団体へ運営費を交付（平成24年度から実施）
- 重点 ⑭ **東アジア圏等観光客誘致広域連携事業費補助金** **1, 200千円**
札幌市などと連携し、アジア圏をはじめとした外国人観光客とMICE誘致に向けたMICEサミットへの参画やメディア招へいなどを実施（平成24年度から実施）
- 重点 ⑮ **小樽kawaiiティーパーティー実行委員会補助金** **500千円**
女性層をターゲットに、国内のみならず海外にも広がる「kawaii（カワイイ）」をキーワードとしたイベントを開催することにより、本市観光の新たな魅力づくりを図る（平成25年度から実施）

⑯ (港湾施設)国直轄工事費負担金

78,500千円

北防波堤改良事業費

58,500千円

老朽化した防波堤の改良による施設の延命化

- ・平成24年度まで 調査・設計、漁業補償、根固工 (L=452m/港外)、被覆工 (L=32m/港外、L=586m/港内)
- ・平成25年度 根固工 (L=98.9m/港外)
- ・平成26年度 根固工 (L=290.1m/港外)、被覆工 (L=245m/港内)

※国直轄事業 平成26年度全体工事費 390,000千円 (うち市負担 15/100=58,500千円)

重点 ◎ 第3号ふ頭岸壁改良事業費

20,000千円

第3号ふ頭及び周辺再開発事業の一環として老朽化が進んでいる16番岸壁を改良 (平成26~29年度)

- ・平成26年度 調査・設計費

※国直轄事業 平成26年度全体事業費 60,000千円 (うち市負担 1/3=20,000千円)

重点 ⑰ 第3号ふ頭岸壁改良事業費

54,400千円

老朽化したエプロン舗装の改良による施設の延命化及びクルーズ客船に対応するための係船柱などの改良による機能強化 (平成22~26年度)

- ・平成26年度 13~15番岸壁 係船柱2基、防舷材8基、エプロン舗装 A=3,180㎡ほか

重点 ⑱ 港内泊地しゅんせつ事業費

18,000千円

土砂などの堆積により浅くなった岸壁前面泊地の必要な水深確保のためのしゅんせつ (平成25~27年度)

- ・平成26年度 勝納ふ頭2・3番岸壁 埋没対策工 L=370m、堀削量 V=1,230m³

◎ ⑲ 臨港道路改良事業費

22,900千円

老朽化が進む臨港道路の舗装補修を行うことにより、円滑な交通確保と安全性を向上 (平成26~31年度)

- ・平成26年度 小樽港縦貫線 舗装改良 L=580m

重点 ◎ ⑳ 小樽港保安施設改良事業費

27,400千円

勝納ふ頭における大型クルーズ客船係留時の車両や歩行者の安全性確保及び港町ふ頭における定期RORO船等の警備体制強化のため保安施設を改良

- ・勝納ふ頭2番岸壁 (大型クルーズ客船対応) 車両・歩行者用ゲート、歩行者扉フェンス
- ・港町ふ頭1番岸壁 (ロシア船対応) ソーラスゲート、フェンス等設置

重点 ②① 環日本海クルーズ推進事業費 1, 820千円

日本海側拠点港に選定された小樽港、伏木富山港、京都舞鶴港と、平成25年度から協議会に参画した境港、秋田県3港（秋田港、船川港、能代港）の5地域が連携してクルーズ客船の誘致活動や情報収集等を実施（平成24年度から実施）

重点 ☆ ②② 小樽港クルーズ推進事業費 15, 840千円

小樽港へのクルーズ客船の更なる寄港促進を図るため設置した市や民間等からなる小樽港クルーズ推進協議会による誘致活動や、寄港増に対応するための受入体制を強化（平成25年度から実施）

②③ 港湾計画改訂事業費 5, 000千円

港湾計画の改訂に必要な計画等の作成（平成24年度から実施）

- ・平成26年度 若竹地区貯木場水面の有効活用及びマリーナⅡ期計画の見直しについて検討

重点 ②④ 高校生就職スキルアップ支援事業費 1, 836千円

主に高校1・2年生を対象に、市内企業への就職率向上を図るため、就職活動の実践力向上事業を実施（平成24年度から実施）

重点 ②⑤ 雇用創出・対策事業 26, 409千円

観光型商店街活性化モデル事業費 10, 501千円

空き店舗を活用した「商店街・観光案内所」の設置や、観光型ホームページの構築、道内外に向けたPR活動などを行い、商店街活性化のモデルづくりを委託により実施（平成25～26年度）

小樽の街並み・景色を観光資源とした観光促進事業費 12, 258千円

現在所有している本市の観光画像データを刷新し、利用者ニーズに対応したデータベースを構築するほか、「小樽撮影ガイドブック」の作成などを委託により実施（平成25～26年度）

海水浴場・観光イベント等クリーンアップ事業費 2, 000千円

市内8海水浴場等と観光イベント「おたる潮まつり」会場を巡回しながら、散乱ごみの収集・集積を委託により実施

市内一円砂箱補充事業費 1, 000千円

市民との協働による急坂路線を中心とした凍結路面对策を充実するため、市内一円に設置している砂箱への砂小袋補充を委託により実施

於古発川店舗落雪対策事業費 650千円

於古発川店舗（妙見市場）の屋根からの落雪による事故や側道の通行阻害を防止するため、屋根の雪下ろし及び側道の除排雪を委託により実施

②⑥ 姉妹都市提携委員会交付金

4, 220千円

姉妹都市であるロシア・ナホトカ市、ニュージーランド・ダニーデン市及び韓国・ソウル特別市江西区との交流事業を実施

- ・平成26年度 ダニーデン市へ少年少女使節団を派遣

(平成26年度から、少年少女使節団の旅行費用の1/2を姉妹都市提携委員会で負担)

5 自然とまちなみが調和し、環境にやさしいまち（環境保全）

① 環境基本計画策定事業費

2, 000千円

平成22年6月制定の「小樽市環境基本条例」の基本理念実現に向けた環境施策の具体化を図るため、環境基本計画を策定（平成24～27年度）

- ・平成24年度 基礎調査
- ・平成25年度 基礎調査、市民アンケート、計画（素案）の検討
- ・平成26年度 計画（案）を環境審議会へ諮問・答申、計画決定
- ・平成27年度 計画の施行、公表

◎ ② 一般廃棄物処理基本計画策定事業費

1, 136千円

平成16年度に策定した本計画が平成26年度で終了することから、平成27～36年度を計画期間とする次期計画を策定

③ 北しりべし廃棄物処理広域連合負担金

1, 225, 365千円

北しりべし廃棄物処理広域連合（小樽市、積丹町、古平町、余市町、仁木町、赤井川村）によるごみ焼却施設及びリサイクルプラザの運営に要する経費

重点 ④ 小樽公園再整備事業費

96, 600千円

明治26年開園の小樽公園を再整備

- ・平成25年度 工事測量及び実施設計
- ・平成26年度 日本庭園及び炎の塔広場の整備、公園維持管理事務所の更新

⑤ 都市公園安全・安心事業費

48, 300千円

老朽化した公園施設の更新やバリアフリー化を計画的に進め、公園利用者の安全・安心を確保

- ・平成26年度 遊具の更新（銭函公園など4公園）
トイレのバリアフリー化（手宮公園緑の相談所）

☆ ⑥ **歴史的建造物保全及び景観地区内建造物修景等事業費助成金** **10,000千円**

景観条例に基づき登録している歴史的建造物のうち、民間が所有する建造物の外観に係る補修費の一部を助成し、歴史的建造物の保全を推進

(平成25年度に所有者への補修予定についての意向調査を実施)

助成額：歴史的建造物の外観保全に必要な経費の1/3以内

限度額：指定歴史的建造物600万円、登録歴史的建造物300万円

【その他の施策】

☆ ① **おたる市議会だより発行経費** **4,500千円**

年4回発行している市議会広報誌の5月発行分のページ数を増やし、市議会の活動状況などの情報発信を充実

◎ ② **自治基本条例推進等事業費** **700千円**

平成26年4月から施行する「小樽市自治基本条例」について、市民参加と協働によりまちづくりを進めるため、内容を理解しやすいリーフレットを作成するほか、市民説明会やワークショップを開催

◎ ③ **PCB廃棄物処理関係経費** **116,091千円**

市施設で保管している安定器等のPCB（ポリ塩化ビフェニル）汚染物について、「北海道ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理計画」に基づき、処理機関である日本環境安全事業(株)北海道事業所へ搬入し処理

④ **戸籍事務電算化事業費** **26,018千円**

紙で管理している戸籍をデータ化してコンピュータで管理することにより、戸籍届出処理や証明書発行の適正化・迅速化及び災害発生時の危機管理体制を整備

- ・平成24年度 契約、戸籍データ化作業開始
- ・平成25年度 戸籍データ化作業
- ・平成26年度 システム稼働

⑤ **町内会館等建設助成金** **9,000千円**

町内会等が町内会館等を建設（新築、増築、改築、補修、取得）する場合に、当該町内会等に対して助成金を交付

- ・平成26年度：真栄会館

◎ ⑥ **地籍調査事業費** **1, 206千円**

平成26年度から市内中心部10区域において官民境界等先行調査（道路、河川等と民地の境界調査）を実施（実施予定期間：平成26年度～37年度）

・平成26年度実施区域：住吉町

重点◎ ⑦ **観光物産プラザ屋根改修事業費** **74, 000千円**

総合博物館運河館屋根改修事業費 **57, 500千円**

老朽化が著しい観光物産プラザ及び併設する総合博物館運河館の屋根瓦を、積雪寒冷地用の新工法により下地も含めて全面的に葺き替え

⑧ **知事及び道議会議員選挙準備費** **15, 511千円**

任期満了日：（北海道知事）平成27年4月22日 （北海道議会議員）平成27年4月29日

⑨ **市長及び市議会議員選挙準備費** **16, 369千円**

任期満了日：（小樽市長）平成27年4月29日 （小樽市議会議員）平成27年4月30日

⑩ **農業委員会選挙費** **1, 305千円**

任期満了日：平成26年7月27日

⑪ **臨時福祉給付金給付事業費** **447, 036千円**

消費税率引上げに対する低所得者への措置

対象者：平成26年度市民税（均等割）が課税されていない方

（市民税（均等割）が課税されている方の扶養親族等及び生活保護被保護者等を除く）

給付額：対象者1人につき1万円

（老齢基礎年金、児童扶養手当等受給者等は5千円加算）

⑫ **子育て世帯臨時特例給付金給付事業費** **114, 654千円**

消費税率引上げに対する子育て世帯への措置

対象者：平成26年1月分の児童手当を受給している方で、前年の所得が児童手当の所得制限額に満たない方（臨時福祉給付金対象者及び生活保護被保護者等を除く）

給付額：対象児童1人につき1万円